

# 海外での日本語学習者数 速報値発表

## 世界の日本語学習者数 9.1%増加 (398万人)

### 2012年 海外日本語教育機関調査結果

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、世界各国での日本語教育の最新状況を把握するために、3年に1度「海外日本語教育機関調査」を実施しています。

2012年調査では、中国において、日本のポップ・カルチャーへの関心を背景にした学習動機や「将来の就職」等経済的・実利的理由に支えられて大学を中心に学習者が伸びています。インドネシアでは、タイ、フィリピン、マレーシア等他の東南アジア諸国と同様に、引き続き、外国語の選択科目として学ぶ高校生を中心に学習者の大きな伸びが見られました。

韓国では、高校における教育制度の変更が、日本語を含む外国語選択に影響を及ぼしたこと等により、学習者数が減少しました。

世界全体として、高校等の中等教育段階の学習者の拡大が続いている中で、これら学習者の関心、期待に応える教材の開発・提供や教師の能力を維持・向上させる必要などの課題へ対応の必要性も強く意識される結果となりました。

学習者数	3,984,538人	(09年 3,651,232人 より 9.1%増)
機関数	16,045機関	(09年 14,925機関 より 7.5%増)
教師数	63,771人	(09年 49,803人 より 28.0%増)

順位	国・地域名	2009年学習者数(人)	2012年学習者数(人)	増減率(%)
1	中国	827,171	1,046,490	26.5
2	インドネシア	716,353	872,406	21.8
3	韓国	964,014	840,187	▲12.8
4	オーストラリア	275,710	296,672	7.6
5	台湾	247,641	232,967	▲5.9
6	米国	141,244	155,939	10.4
7	タイ	78,802	129,616	64.5
8	ベトナム	44,272	46,762	5.6
9	マレーシア	22,856	33,077	44.7
10	フィリピン	22,362	32,418	45.0

※詳しい調査結果についてはお問い合わせください。

※前回実施の「2009年 海外日本語教育機関調査」については、国際交流基金 HP にてご覧いただけます。 <http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/result/index.html>

お問い合わせ : 日本語教育支援部企画調整チーム 担当: 縄田

電話: 03-5369-6066

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

[www.jpff.go.jp](http://www.jpff.go.jp)

